

広濟堂ホールディングス 個人投資家さま向け説明会

株式会社 広濟堂ホールディングス
代表取締役社長 黒澤 洋史

0 目次

1	広濟堂ホールディングスについて	P. 2
	<ul style="list-style-type: none">・ 会社概要・沿革・ 事業概要	
2	業績について	P. 9
	<ul style="list-style-type: none">・ 2023年3月期 業績予想・配当予想の修正・ 2023年3月期 第3四半期業績（連結）・ 株主還元 配当計画	
3	今後の事業成長	P. 17
	<ul style="list-style-type: none">・ 今後の事業成長 式場事業・ 式場事業の成長性	
4	公益事業について	P. 21
	<ul style="list-style-type: none">・ セグメント情報の変更 葬祭セグメントの区分・ 葬祭公益事業の収支の考え方	
A	ご参考資料（会社紹介）	P. 25

1

広濟堂ホールディングス について

1-01 会社概要

会社名

株式会社広済堂ホールディングス

創業

1949年1月

売上高

35,361百万円
(2022年3月期)

総資産

68,843百万円
(2022年12月末)

純資産

39,218百万円
(2022年12月末)

代表者

代表取締役社長 黒澤洋史

従業員数

1,129人 (連結 | 2022年12月末現在)

市場情報

東京証券取引所プライム市場
(証券コード：7868)

1-02 葬祭セグメント | 主な事業内容

火葬場運営

・
式場提供

公共性の高い火葬事業運営

100年超の歴史のある東京博善が、東京都23区内で、火葬という公共的な使命を果たしてまいりました

ハイグレードな施設

斎場の近代化を進め、バリアフリー空間、クリーンな火葬システムの導入で、有終の美を飾るにふさわしい場を提供



火葬炉前ホール

葬儀サービス



東京博善のお葬式

最高品質のサービス

古くから日本が築きあげてきた葬送文化を大切にしながらも、時代の変化に合わせ故人さまとご家族に寄り添ったサービスを提供

明朗でわかりやすいプラン

ご家族が故人さまとの最期のお別れを不安なく迎えられるようなプランをご提案



1-03 葬祭セグメント | 東京博善・施設紹介

■ 総合斎場（式場機能を備えた火葬場）



町屋斎場（荒川区）



落合斎場（新宿区）



代々幡斎場（渋谷区）



四ツ木斎場（葛飾区）



桐ヶ谷斎場（品川区）



堀ノ内斎場（杉並区）

都内23区内に6カ所 / ハイグレードな施設

1-04 情報セグメント | 主な事業内容

印刷事業

印刷ソリューション

コミックス・書籍などの出版物、広報・販促物から、パーソナル対応に適したOne to Oneのデジタル印刷まで提供



高付加価値印刷

当社独自の高精細印刷技術やブラックライト印刷など高い技術力でお客様をサポート

BPO

ワンストップソリューション

コールセンター、データ処理代行、ECサイト運営代行、お客様のニーズに合わせた最適な設計とグループ力をいかした幅広いサポートが可能



IT サービス

デジタルソリューション

印刷で培った情報加工技術を応用、Webサイトやシステム構築から、オリジナルのクラウドサービスまで、DX推進を支援



1-05 人材セグメント | 主な事業内容

HRテック

採用管理システム

採用業務をDX化。ダイレクトリクルーティングを加速させ、採用業務に関する各種課題を解決



特定技能外国人の雇用支援

特定技能外国人の雇用にかかる管理コストを費用面および業務面から、その負担を軽減するシステムを提供



求人媒体

東北・北陸地方で40年超

地域密着で、アルバイトから正社員、派遣スタッフの募集まで、さまざまな雇用形態を訴求する「Workin（ワーキン）」を運営



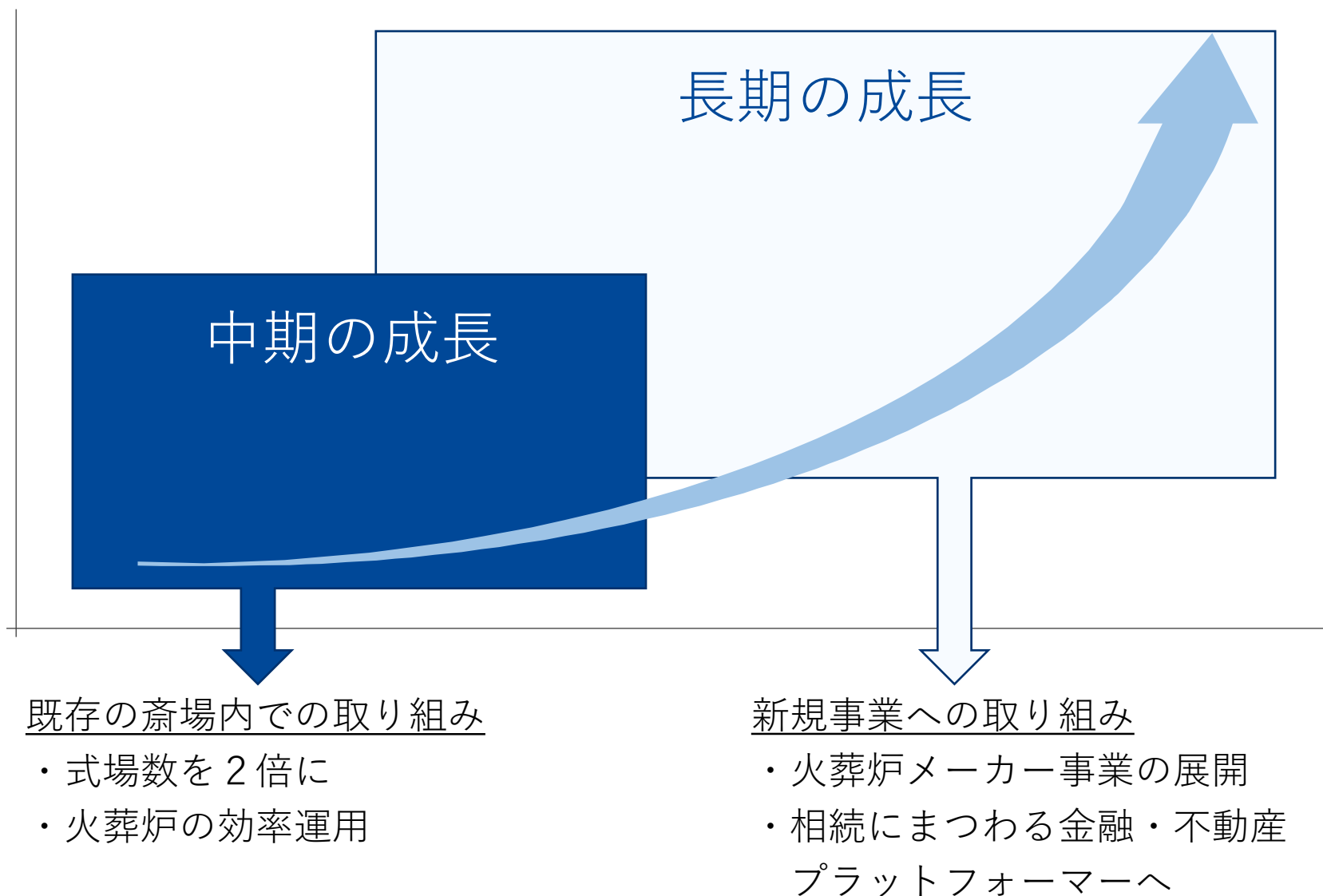
人材派遣

多様なニーズに対応

新潟・埼玉・宮城エリアを拠点に、オフィス系・物流系・製造系など多様な人材を派遣



1-06 当社グループの事業成長



2

業績について

2-01 2023年3月期 業績予想の修正

修正の理由

第4四半期の業績も、葬祭セグメントを中心に堅調に推移する見通しであると共に、第4四半期にすべての連結対象会社の減資が完了することに伴い税効果の試算を行った所、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想から大きく増加する見通し

(単位：百万円)

	前回発表予想 (2022年5月14日発表)	今回修正予想 (2023年2月10日発表)	前回発表予想比		(ご参考) 前期実績
			増減	増減率(%)	
売上高	37,800	36,620	▲1,180	▲3.1	35,361
営業利益	3,800	4,130	330	8.7	3,729
経常利益	3,700	4,000	300	8.1	3,610
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,950	3,850	900	30.5	3,643

2-02 配当予想の修正

2023年3月期 配当予想

- ✓ 通期連結業績予想の修正に伴い、期末配当を修正（配当性向15%）

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2022年3月期 実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭
2023年3月期 実績	7円75銭	—	—
2023年3月期 前回予想	—	7円75銭	15円50銭
2023年3月期 今回修正予想	7円75銭 <実施済>	12円50銭	20円25銭

2-03 2023年3月期 第3四半期決算ハイライト

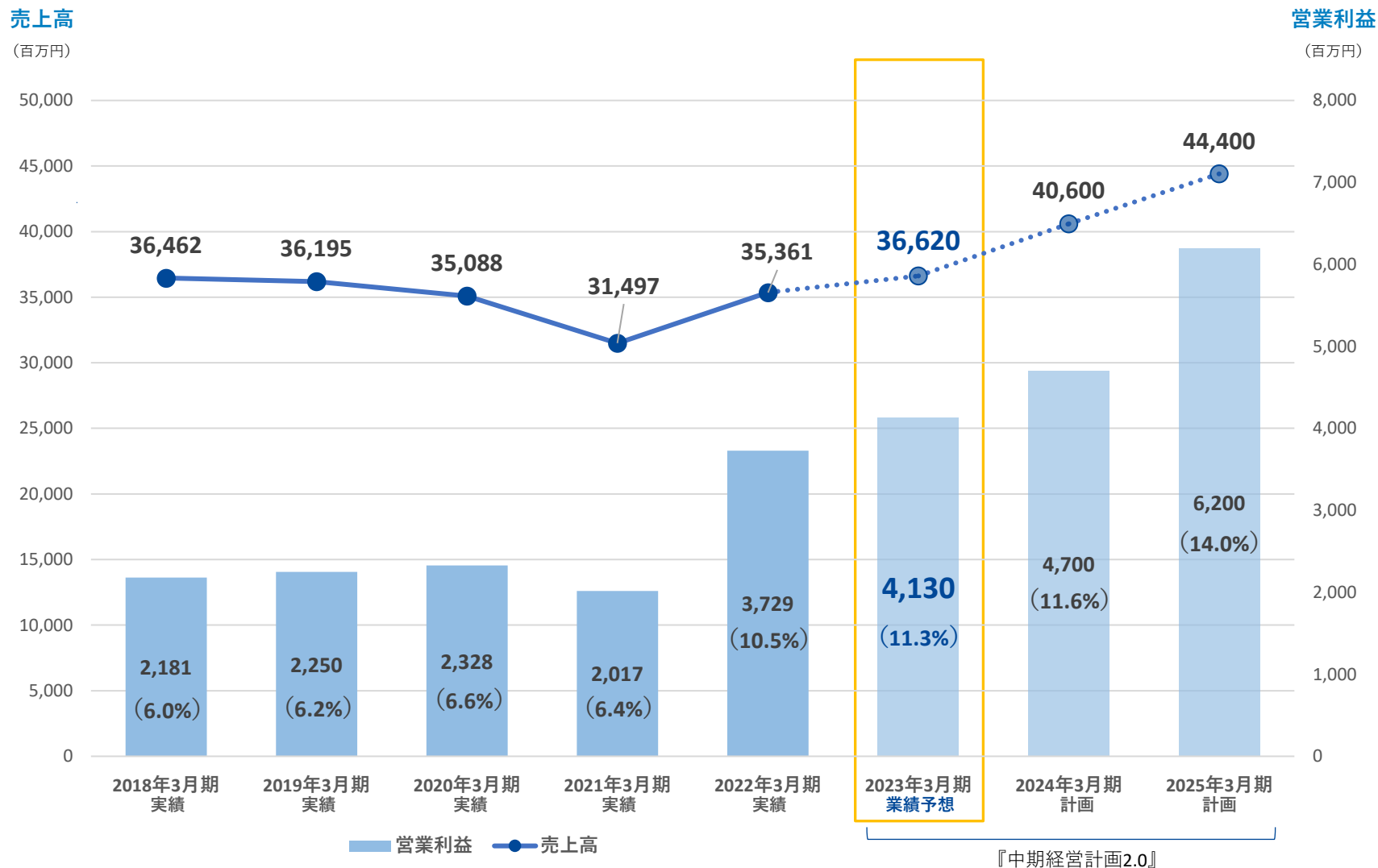
- ・ 第3四半期（累計）の連結業績 前年対比 増収増益
（売上高 9.7%増 営業利益 26.9%増）
- ・ 2023年3月期 通期業績・配当予想の修正
- ・ 既存事業領域における成長事業の見極め



計画の着実な実行 と 今後の成長への具体的準備

2-04 売上高・営業利益の推移 | 2018年3月期～2025年3月期

(単位：百万円、カッコ内は営業利益率)



2-05 2023年3月期 第3四半期業績（連結）

- ・ 葬祭：来場者数の増加から式場、休憩室、菓子飲料の売上増
- ・ 情報：印刷事業の工場稼働率維持、BPO事業の堅調な推移
- ・ 人材：求人媒体・派遣事業の堅調な推移、人材紹介事業の回復

（単位：百万円）

	2022年3月期 第3四半期 [累計]	2023年3月期 第3四半期 [累計]	前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	23,891	26,199	2,308	9.7
営業利益	1,904	2,416	512	26.9
経常利益	1,786	2,374	588	32.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,565	1,902	337	21.6

2-06 2023年3月期 第3四半期 事業セグメント別業績サマリ

(単位：百万円)

	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2023年3月期 第3四半期 [累計]	2022年3月期 第3四半期 [累計]	増減	増減率 (%)	2023年3月期 第3四半期 [累計]	2022年3月期 第3四半期 [累計]	増減	増減率 (%)
葬祭	8,398	6,676	1,722	25.8	2,787	2,152	635	29.5
情報	12,815	12,623	192	1.5	212	△ 46	258	— (黒字転換)
人材	4,985	4,591	394	8.6	92	333	△ 241	△ 72.4
調整額等			0	—	△ 675	△ 534	△ 141	—
合計	26,199	23,891	2,308	9.7	2,416	1,904	512	26.9

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更等について)

第1四半期累計期間より、報告セグメント毎の経営成績をより適切に評価するため、報告セグメントのセグメント利益に含まれていた各グループ会社の経営指導料を、セグメント利益の調整額に全社費用として計上する方法に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法及び利益または損失の算定方法により作成したものを記載しております。

2-07 株主還元 | 配当計画

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 計画	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画
当期純利益	△2,671	854	3,643	2,950	3,750	4,800
目標配当金額	-	-	-	443	1,125	1,440
目標配当性向	-	-	-	15%	30%	30%

- ✓ 2023年3月期から復配（目標配当性向15%）
- ✓ 中長期的な成長機会の追求を意識した資金配分を実施
- ✓ 事業成長を遂げ、2024年3月期以降安定して配当性向を30%に

3

今後の事業成長

3-01 今後の事業成長 | 式場事業

中期的成長の柱

葬祭セグメントにおける式場事業による成長

東京博善が有する全斎場において、式場は高稼働率（90%超）

ご利用者の
利便性の課題

東京博善の斎場は、火葬場・式場一体型の施設であるため利便性があるが、高稼働率の為、当斎場の式場が使えない場合も

資産効率の余地

式場の増設は当社既有資産の活用の余地が高い

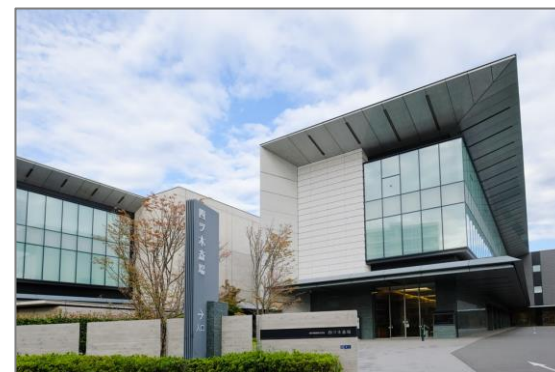
式場増設による付加価値向上 = 事業成長

3-02 式場事業の基礎データ

施設関連データ

(※2022年12月現在の情報に基づく)

現状施設		
齋場	齋場数	6カ所 (23区内)
	延床面積	45,132㎡
式場	総式場数	35室
	式場面積	3,889㎡ (うち、控室 1,790㎡)
	平均坪数	約33坪 (式場18坪 + 控室15坪)
増設計画	式場増設数	36室
	増床面積	2,168㎡
	備考	2023年8月までに完了予定



— 総合齋場 —



— 式場 —

増築余地	
増築可能箇所	7カ所 (23区 既存敷地内)
延床面積	10,460㎡
式場面積	収益最大化の為、別途試算

3-03 式場事業の成長性

(※2022年12月現在の情報に基づく試算)

式場と収益の拡大

2022年12月現在

2023年8月時点

2023年9月以降

総式場数

35 式場 $\xrightarrow{+36}$ 71 式場 $\xrightarrow{+\alpha}$ X 式場

想定年間収入

2,200 百万円 $\xrightarrow{+1,900}$ 4,100 百万円

坪あたり収入

156 千円/月 $\xrightarrow{+30}$ 186 千円/月

増築余地
10,460m² (3,164坪)
単純計算では+7,062百万円
レントブル比50%としたとき
+3,500百万円

しかしながら、その全てを式場としては使用できない為、式場の更なる拡大は精査中。現時点で数値のコミットはできない

稼働状況を見極めながら、式場事業の収益最大化を図る

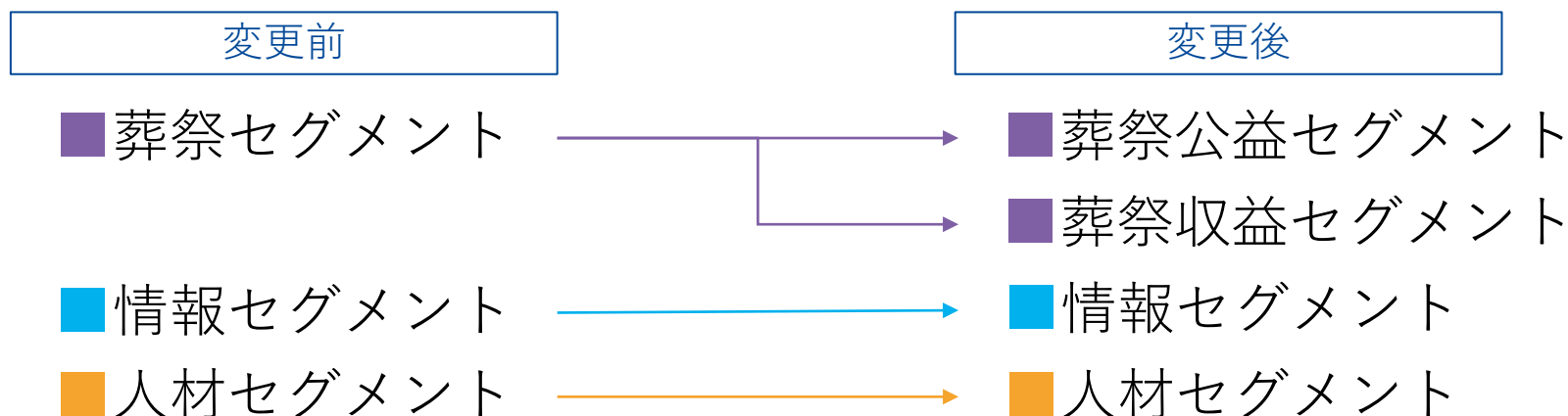
※「想定年間収入」は、“式場数に応じた年間あたり売上高”の試算であり、必ずしも“事業年度の年間売上高”と一致するものではありません。
※ 2023年度（2024年3月期）の業績予想につきましては、2023年5月12日の本決算の発表にあわせてご説明する予定です。

4

公益事業について

4-01 セグメント情報の変更 | 葬祭セグメントの区分

各事業の成長および経営実態を明確にすることを目的とし、
事業セグメントを変更（2024年3月期より開始予定）



葬祭公益セグメント

火葬にかかる事業は、公益性が高いことから
利益成長を図る他事業セグメントとは区分して開示

4-02 葬祭公益事業の収支の考え方

葬祭公益事業は、公益性の高い事業であり、永続性と非営利性が求められます

透明性の向上

より一層の事業安定

■ 葬祭公益事業に対する当社の責任

火葬設備における
維持・更新にかかる投資

葬祭公益事業における
損失等に対する備え

■ 葬祭公益事業収支の考え方（算出式）

葬祭公益セグメント利益 - 法人税等 - 火葬炉特別修繕積立金 = 収支残

||

(葬祭公益事業損失準備積立金)

■ 2023年3月期における試算 | 2022年4月～12月累計

(単位：百万円)

①葬祭公益セグメントの利益			④法人税等	⑤火葬炉 特別修繕積立金	⑥事業収支	収支残は 利益処分	⑦葬祭公益事業 損失準備積立金
②セグメント売上高	③セグメントコスト	(② - ③) =			(① - ④ - ⑤) =		
3,582	3,039	543	188	563	▲ 208		0

(※2022年12月現在の情報に基づく試算)

4-03 セグメント情報の変更 | 開示資料表記

来期（2024年3月期）より、葬祭における公益事業と収益事業を分けて下記の通り開示します（当期分は決算説明資料にて補足）

変更後

セグメント情報

（単位：百万円）

	葬祭公益セグメント	葬祭収益セグメント
売上高	X,XXX	X,XXX
営業利益	X,XXX	X,XXX

変更前

	葬祭セグメント
売上高	X,XXX
営業利益	X,XXX

・四半期／有価証券報告書 注記

（単位：千円）

	当会計期間
純資産の部	
株主資本	XX,XXX,XXX
資本金	X,XXX,XXX
資本剰余金	X,XXX,XXX
利益剰余金	XX,XXX,XXX
その他利益剰余金	XX,XXX,XXX
(火葬炉特別修繕積立金)	XXX,XXX
(葬祭公益事業損失準備積立金)	XX,XXX
純資産合計	XX,XXX,XXX

法人税等も合算し、公益事業の収支を算出

▶ 期末の差し引き収支額は、東京博善株式会社にて、利益処分し、公益事業の収支残額は公益事業に再投資される。

- ▶ これまでは、公益事業に超過収益はなく、公益事業外へその収支が流出する可能性がなかった。
- ▶ 今後は、公益事業単独でその持続性を維持していく。その場合、収支残が出る可能性があるが、公益事業の収支が必ず公益事業に再投資される新スキーム（利益処分）により非営利性を担保する。
- ▶ 支出超過があった場合、繰越管理していきます



A

Appendix

A-01 連結貸借対照表推移

(単位：百万円)

	2022年3月	2022年12月	期末差
流動資産	31,350	27,130	△ 4,220
現金および預金	21,662	19,229	△ 2,433
受取手形および売掛金	7,131	4,886	△ 2,245
固定資産	42,380	41,710	△ 670
有形固定資産	35,820	34,851	△ 969
無形固定資産	916	962	46
投資その他資産	5,643	5,896	253
資産合計	73,736	68,843	△ 4,893
流動負債	17,492	12,211	△ 5,281
短期借入金	5,500	1,400	△ 4,100
未払法人税等	409	234	△ 175
固定負債	18,723	17,413	△ 1,310
負債合計	36,215	29,624	△ 6,591
株主資本	37,239	38,923	1,684
資本金	2,478	100	△ 2,378
利益剰余金	26,742	28,424	1,682
新株予約権	9	11	2
純資産合計	37,520	39,218	1,698

A-02 沿革



2021年
持株会社体制に移行

2022年
葬儀サービス開始
(広濟堂ライフウェル
・グランセレモ東京)

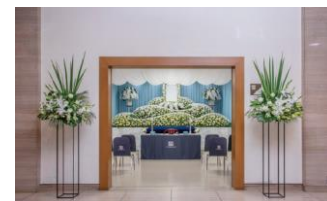
2013年
ベトナム法人設立
(海外人材事業開始)

1977年
求人情報誌創刊
(人材サービス事業開始)

1984年
東京博善がグループに加わる
(エンディング関連事業開始)

1970年
日本初の
コンピュータ組版会社設立

1949年
櫻井膳写堂を創業
(情報ソリューション事業開始)






A-03 広濟堂グループ

人生100年を
もっと豊かに。

広濟堂ホールディングス

KOSAIDOはグループの力を結集し、
「エンディング関連事業」「情報ソリューション事業」
「人材サービス事業」の3つの事業領域から
人々の人生100年を総合的に支援。
より良い環境、豊かな生活、そして希望に満ちた社会を
この先の未来に実現する革新的な
サービスの創出にチャレンジします。




エンディング関連事業

-  東京博善
-  広濟堂ライフウェル
-  グランセレモ東京



[主な事業内容]
火葬場運営・式場提供
葬儀サービス
エンディング関連ビジネス

情報ソリューション事業

-  広濟堂ネクスト
-  威海廣濟堂京友包装
-  x-climb



[主な事業内容]
オフセット印刷(出版・商業)
新聞印刷
デジタル印刷
パッケージ印刷
IT・デジタルソリューション
キャンペーンソリューション
D2Cビジネス支援
デジタルプロモーション支援
BPOサービス
展覧会ビジネス

人材サービス事業

-  広濟堂HRソリューションズ
-  広濟堂ビジネスサポート
-  キャリアステーション
-  共同システムサービス
-  ファインズ
-  エヌティ
-  KOSAIDO HR VIETNAM
-  タレントアジア



[主な事業内容]
求人メディア
求人媒体代理店
環境情報誌発行
フリーペーパーラック取次
人材派遣
人材紹介
人材育成・教育・研修
RPOサービス
海外人材サービス
HR Techサービス

A-04 広濟堂グループ°SDGs宣言

私たちは「広く社会に貢献する」
企業理念の実現のための行動を
起こすべく、

「SDGs」に貢献する

4つのマテリアリティを定めました。

希望ある未来を創造するため、
社員も含めたステークホルダーの
皆さまとともに、

“iDO”を社会課題解決の実現という
“DO”につなげてまいります。



経済

広くささえる

サステナブルな経済活動への価値創造
目まぐるしく変化する世情の中においても、わた
したちのDNAである「広濟(広く社会に貢献する)」
の名のもと、サステナブルな経済活動のイノベ
ーターとなり、既成概念に捉われない柔軟性で共創
価値を創造します。



社会

ともに生きる

公平で多様性のある地域社会の発展
これからの「人生100年時代」に、誰もが自分
らしい生き方を選ぶことができるよう、“思い
やりファースト”で地域社会のファシリテ
ーターとなり、身も心も自由なライフスタイルを
実現します。



未来を+にする会社

環境

未来をまもる

環境負荷軽減による美しい地球の継承
次世代を生きる子どもたちや生き物が共存できるよ
う、地球のライフセーバーとなり、温暖効果ガスの
削減や生態系の保全に努め、パートナーとの連携で
更なる環境リスク軽減を目指します。



企業文化

笑顔でつながる

透明性と対話のある健全な企業経営
法令遵守はもとより、誰ひとり取り残さないSDGsの普遍
的価値に基づく「人権尊重」「ジェンダー平等」「女性
のエンパワーメント」推進によって、一人ひとりがム
ードメーカーとなり、働きがいある職場づくりとコミュニ
ケーションにあふれる企業文化を守り続けます。



人生100年をもっと豊かに

<本資料についてのご注意>

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいて算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性から、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となりうることを、ご承知おき下さい。



KOSAI DO GROUP

広濟堂ホールディングス

<https://www.kosaido.co.jp/>